



GOAL 

勝利をつかむまであきらめるな!!

海陽中学校…体育祭(令和5年9月9日)



海陽町議会だより

9月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **70** (2023.11)

おもな内容

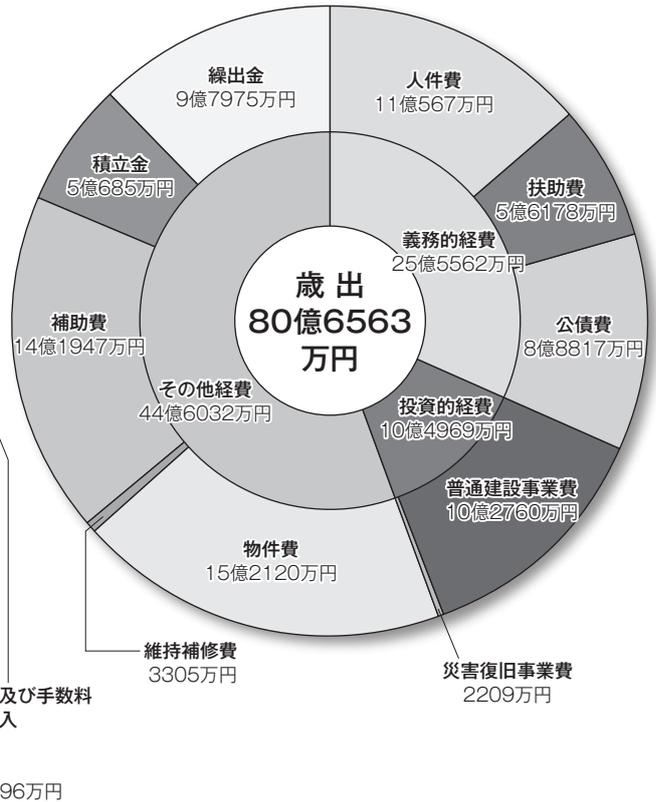
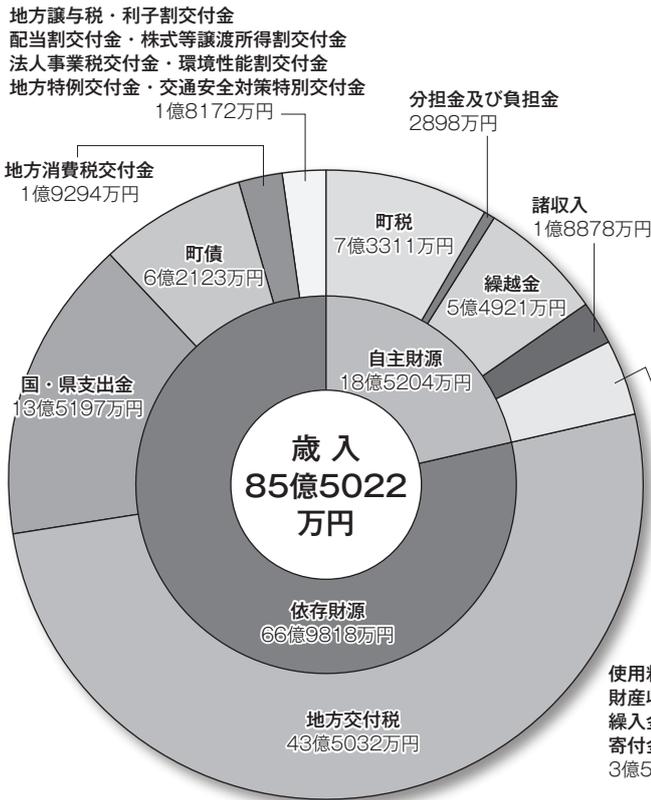
委員長報告	6・8P
町長行政報告	13P
一般質問	16~19P

令和4年度

決算認定 将来に向けた財源を確保へ

令和4年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定の議案が提出され、私たちが納めた税金や、国・県からの補助金がどのように使われたかを慎重に審査した結果、すべて原案のとおり認定しました。

令和4年度一般会計 歳入・歳出決算の内訳



目的別歳出

歳出総額



議会費



総務費



民生費



衛生費



農林水産業費



商工費



土木費



消防費



教育費



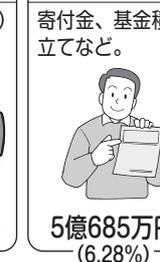
災害復旧費



公債費



諸支出金



(※金額はすべて千円以下を四捨五入しています。)

令和4年度
一般会計

81億円はどう使われたのか 物価高騰対策事業などに!

監査意見

当

年度の歳入総額は、85億5022万円

で前年度と比べて3億2777万円の減少。科目別で、増加は「寄附金」・「諸収入」・「地方譲与税」等。減少は「国庫支出金」・「繰越金」・「地方交付税」等である。

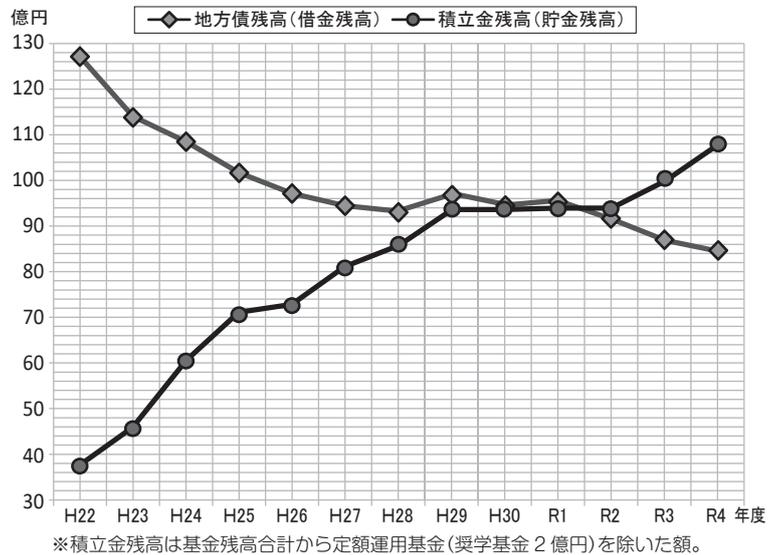
臨時財政対策債や普通交付税が減少した影響などにより、経常収支比率が84.6%と、前年度に比べ4.3ポイント悪化となっている。

次年度以降も普通交付税の減少は免れられず、海南病院、(株)漁火、海南荘など懸案事項も山積しており、人口の減少、高齢化に加え、収束の見えないロシア・ウクライナ情勢の影響による物価高騰の上に、防災無線、突喰防災公園、広域ごみ処理施設など大型事業を控え、危機感を持ち一層の財政基盤強化に取り組ま

基金残高一覧表

普通会計	財政調整基金	39億4809万円	
	減債基金	18億9724万円	
	特定施設振興整備基金	4億 97万円	
	鉄道経営安定基金	3億 203万円	
	地域福祉基金	2億7400万円	
	子どもあゆみ基金	10億5878万円	
	千年のいのちを守るまちづくり基金	15億5991万円	
	その他基金	7億8862万円	
	その他の主な基金		
	・ふるさとづくり寄付基金	1億3611万円	
・観光施設等基盤整備基金	2066万円		
・温泉整備開発基金	4404万円		
・森林・林業活性化基金	4350万円		
・公共施設整備保全基金	5億 円		
特別会計	国民健康保険財政調整基金	1億7695万円	
	国民健康保険突喰診療所財政調整基金	2億 92万円	
	その他基金	2億1555万円	
定額運用基金	奨学金基金	2億 円	
合計		110億2306万円	

町の借金と貯金の推移



会計別決算状況

(単位：万円)

会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	85億5022	80億6563	4億8459
国民健康保険特別会計	14億6395	13億4756	1億1639
後期高齢者医療特別会計	2億 646	2億 23	623
介護保険特別会計	15億6951	15億5977	974
浅川公共下水道事業特別会計	6011	5162	849
海部公共下水道事業特別会計	7899	6711	1188
突喰公共下水道事業特別会計	2億1508	2億 605	903
神野農業集落排水事業特別会計	1658	1162	496
川西農業集落排水事業特別会計	4487	3470	1017
日比原農業集落排水事業特別会計	1371	849	522
漁業集落排水事業特別会計	1817	1447	370
鉄道経営安定基金特別会計	3億3596	3億3596	0
突喰診療所事業会計	9636	6907	2729

子どもあゆみ基金

少子化対策の施策の推進を図り、次代を担う子どもを安心して産み育てられる環境整備に備えるための基金。



漏水対策に取り組み 今後一層の改善努力を！

医師の安定確保と 経営改善計画の着実な実行を！

令和4年度水道事業会計

事業収益	1億9720万円	(△321万円 対前年)
事業費用	1億7022万円	(△509万円 対前年)
純利益	2698万円	

将来的に給水人口が減少する中、地震・津波対策を行うには、今後更に財政の健全化が必要とされ、水道事業運営が適正かつ公平・健全に行われることを望む。



漏水調査

事業は順調に推移してきたが、昨年度と比較し事業収益は321万円の減少となっている。この要因は、給水件数の減少等によるものであるが、動力費や人件費などの費用も増加している。特に動力費は、今後更に値上りが予想され、施設や水道管の老朽化は進みつつあることから、職員においてはコスト削減の意識を常に念頭に置きつつ経営に取り組まなければならない。防災面から見ると、南海トラフ巨大地震等に備えた水道管の耐震化など更なる施策が必要であり、地震・津波対策を計画的に講じることが課題となっている。

令和4年度海南病院事業会計

事業収益	5億3084万円	(△526万円 対前年)
事業費用	5億7405万円	(+1062万円 対前年)
純損失	4321万円	

医師の安定確保は最重要課題である。また、令和2年度からの令和4年度までの海南病院改革計画目標に対する実績の検証をもとに、今後の在り方について検討し、公立医療機関の役割・使命を改めて意識し、住民のニーズを踏まえながら、信頼され必要とされる病院となるよう改めて期待する。



第9回海南病院改革検討委員会(令和5年9月5日)

一般会計からの繰入金金は、資本勘定繰入を除いた収益勘定繰入が1億9100万円で、昨年度より減少しているが、事業損益は58%増加している。新型コロナウイルス対策医療を含む地域包括ケア入院医療収益の増加のほか、在宅医療等の充実を図っている事がうかがわれるが、経費の削減等については、医療資材の共同購入や各種委託契約の見直しなど、あらゆる経費の削減を検討すべきである。

第3回定例会

議案の審議

令和5年第3回定例会は、9月11日開会、町長より14議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決・承認し、9月15日閉会した。

承認関係

- ・決算認定について(P2・3・4参照)
- ・令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- ・権利の放棄について
- ・人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者



住所 吉田字西沢
田村 航也 氏

任期満了に伴う候補者の推薦（再任）を適任と認めました。
※ 任期は令和6年1月1日から3年間

条例関係

- ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

第2回臨時会

議案の審議

第2回臨時会は、8月4日開会、次の議案等が提出され、審議の結果、原案どおり可決し、閉会した。

契約関係

- ・消防自動車(小型動力ポンプ付積載車)購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 2066万円
契約相手 株式会社藤島
- ・奥谷トンネル修繕工事に係る相互関連工事受託契約について
契約方法 随意契約
契約金額 6051万円
契約相手 牟岐町
- ・給食配送車購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 805万円
契約相手 谷崎自動車整備工場

予算関係

- ・一般会計補正予算(第3号) 3億2900万円↑
 - ・介護保険特別会計補正予算(第2号) 2044万円↑
 - ・六喰公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)(財源更正)
 - ・水道事業会計補正予算(第2号)
 - ・海南病院事業会計補正予算(第2号)
- 注釈 ↑ 増額
↓ 減額
- 収益的収支 14万円↑
収益的収支 166万円↑

意見書

- ・議員提案の意見書
- ・JR四国「牟岐線」の維持・存続を求める意見書(P12参照)

9月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	9月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億3,671万9千円	8.2
地方譲与税	0	1億3,850万円	1.8
利子割交付金	0	30万円	0.0
配当割交付金	0	670万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	390万円	0.1
法人事業税交付金	0	1,340万円	0.2
地方消費税交付金	0	1億6,570万円	2.1
環境性能割交付金	0	390万円	0.1
地方特例交付金	0	130万円	0.0
地方交付税	0	37億4,415万8千円	48.1
交通安全対策特別交付金	0	50万円	0.0
分担金・負担金	157万5千円	5,158万1千円	0.7
使用料・手数料	0	8,086万6千円	1.0
国庫支出金	8,758万7千円	5億7,742万1千円	7.4
県支出金	3,097万2千円	4億9,184万9千円	6.3
財産収入	0	6,491万6千円	0.8
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	4,440万9千円	10億8,652千円	12.9
繰越金	△72万2千円	6,606万7千円	0.8
諸収入	2,487万7千円	8,376万3千円	1.1
町債	1億4,030万5千円	6億4,930万5千円	8.3
合計	3億2,900万3千円	77億9,019万7千円	100.0

歳出	9月補正	補正後	構成比率
議会費	6万円	6,979万7千円	0.9
総務費	2,269万2千円	10億5,835万8千円	13.6
民生費	778万4千円	18億6,293万2千円	23.9
衛生費	595万9千円	8億4,459万円	10.9
農林水産業費	7,374万9千円	6億2,754千円	7.7
商工費	3,802万5千円	4億509万円	5.2
土木費	8,889万円	8億2,848万1千円	10.6
消防費	1,760万円	4億6,498万円	6.0
教育費	5,924万4千円	8億8,205万5千円	11.3
災害復旧費	1,500万円	3,895万円	0.5
公債費	0	7億1,582万円	9.2
諸支出金	0	245万円	0.0
予備費	0	1,394万円	0.2
合計	3億2,900万3千円	77億9,019万7千円	100.0

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長 叶岡 徹

9月12日開会。当委員会が所管する提出議案について、説明を受けた。

決算認定

○ 令和4年度的一般会計の歳入決算額は85億5022万円、歳出決算額は80億6563万円、經常収支比率は84.6%、健全化判断比率、公営企業における資金不足比率は、健全な水準。

委員の問 今後、交付税の減額も予想され、義務的経費の削減に取り組むべきでは。

答 国の動向を注視し、見極めていく。また、ふ

るさと納税による歳入確保に努めていく。

委員の問 庁舎方式など今後のあり方について、住民に提示し、意見を求めたい。

答 合併からの積み残しの課題解消に努めていく。

委員の意見 地籍調査の進捗率が県内で最も低い。森林明確化事業も含めた数値を出せないか。

委員の意見 公共施設の電気代の削減対策について、具体的な数値を用いて取り組むように。

委員の問 海南・海部地区の水道施設を統合し、維持管理費削減を行うべきでは。

答 災害時のリスク回避の対応も含めて検討する。

承認関係

○ 令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

2000万円の建設改良積立金を積み立てる。

条例関係

○ まぜのおかオートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の改正

施設の利用時間や利用料の改正。

予算関係

○ 令和5年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ3億2900万円を追加し、総額を77億9020万円とする。

継続費では、防災行政無線システム改修事業に、令和7年度までで、総額9億4300万円の設定。

歳入予算

国庫支出金の社会資本整備総合交付金2500万円は、宍喰地区防災公園整備事業によるもの。

財政調整基金繰入金

2000万円は、新型コロナウイルス臨時交付金を活用した物価高騰生活応援商品券事業から、交付決定を受けた住民税非課税世帯等への臨時交付金を差し引いた額を繰り入れ、今後、新型コロナウイルス臨時交付金の追加交付決定後、財源振替を行う。

歳出予算

総務費

・自転車ヘルメット購入補助金 [50万円]

・参議院議員補欠選挙費 [1802万円]

土工費

・インバウンド参加型体験コンテンツ造成業務委託料 [減額3900万円]

観光庁補助事業不採択のため

土木費

・町道3路線の浸水対策検討調査費 [750万円]

・町道四方原五反田線などの詳細設計業務 [1770万円]

消防費

・宍喰あたご神社避難路整備工事 [440万円]

委員の問 国のインバウンド事業が不採択となったが、今後の取り組みは。

答 四国の右下観光局と連携して、海外客の誘致事業を行っていく。

委員の問 防災行政無線システム改修工事の業者選定の方法は。

答 プロポーザル方式での業者選定を行う。

委員の問 漁火の総支配人の退職後の対応は。

答 サウンディング調査を行っており、民間業者からの意見を聞いて、今後の方針を検討する。

※サウンディング調査とは、事業化検討段階において、民間事業者から広く意見や提案を求める市場調査。

○ 特別会計補正予算
宍喰公共下水道事業特別会計補正予算

国庫補助金減額に伴う財源振替。

水道事業会計補正予算

職員手当の増額と委託料の減額補正。



拡幅予定の町道四方原五反田線

その他主な事業は、左のページに特集しています。

生活支援のために 物価高騰生活応援商品券事業

6688万円

電 気・ガス・食料品等の物価高騰を応援するため、1人7000円の商品券を配布します。
(使用期間は令和5年11月20日～令和6年1月31日まで)



生活応援商品券の見本

地域の安全安心のために



防災公園現況

突喰地区 防災公園 整備事業

5200万円

令 和4年度に工事用道路が完成したため、引き続き防災公園の本体造成工事を行います。

森林環境譲与税活用事業

林業後継者の育成のために
**林業従事者用住宅建築
工事** 2300万円

林 業担い手の受入体制を整えることを目的に、林業に従事する人向けの住宅を1棟(2世帯分)建設します。

● 建て替えのための支援
● **鞆浦漁協事務所新築
補助金** 845万円

● **老** 朽化した鞆浦漁協事務所を建て替えるため、建築費の一部を補助します。

文教厚生常任委員会

委員長 富田 寛

9月11日開会。当委員会が所管する提出議案について、説明を受けた。

決算認定

○ 令和4年度の当委員会所管の決算報告を受けた。

・ 国民健康保険特別会計
事業勘定(海南病院)は、歳入14億6395万円、歳出13億4756万円。
委員の間 総務費の増額理由は。

答 人事異動に伴う人件費の増。

・ 施設勘定(宍喰診療所)は、歳入9636万円、歳出6907万円、延べ患者数8876人、基金残高は、2億92万円。

委員の間 基金は毎年積んでいるのか。町外からの患者はどのくらいか。

答 利息分を積み立てて

いる。2割ぐらいは、東洋町から。

・ 後期高齢者医療特別会計は、歳入2億646万円、歳出2億23万円。

委員の間 年金からの特別徴収は可能か。

答 可能である。

・ 介護保険特別会計は、歳入15億6951万円、歳出15億5977万円、基金残高は、1億5851万円。

・ 海南病院事業会計は、収益総額5億3084万円、費用総額5億7405万円、純損失は、4321万円。入院患者が前年度比434人減、外来患者725人減、病床利用率は42.3%。

委員の間 検討委員会でどういう意見があったのか。

答 医師確保に努めること、レスパイト入院を増やしてほしいなど。

委員の意見 多少収入が上がつているのは評価する

が、全体の経営的には変わっていない。人口減、患者数減を考えた時、根本的な見直しをしてほしい。また、経常収支比率の改善も求める。

※レスパイト入院とは

医療管理が必要な方が在宅で療養されており、家族等の諸事情、または、身体的・精神的な疲労により一時的な休息をとる場合に利用できる。在宅医療を支えるための入院。

条例関係

○ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正
法令の改正により、大臣名を「厚生労働大臣」から「内閣総理大臣」に改める。

○ 病院事業の設置等に関する条例の改正
リハビリテーション科を脳神経外科に改正。

承認関係

○ 権利の放棄について
町営住宅使用料未納額

等に係る債権の放棄。

予算関係

○ 令和5年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ3億2900万円を追加し、総額を77億9020万円とする。

総務費

・ 戸籍住民基本台帳費委託料 [185万円]

民生費

・ ICT化推進事業補助金 [60万円]

衛生費

・ 施設修繕工事請負費 [385万円]

教育費

・ グローバル教育事業推進サポート委託料 [420万円]

・ 子どもあゆみ学校給食費補助金 [86万円]

・ 施設改修工事請負費 [2564万円]

宍喰小学校トイレ改修工事2314万円、3小学校体育館照明器具改修工事の補正250万円。

・ 施設改修工事請負費 [250万円]

2中学校体育館照明器具改修工事の補正。

委員の間

学校のトイレ洋式化は、今後も進めていくのか。

答 今年度末に策定する学校のあり方基本計画を踏まえた上で設定し、進めていく。

○ 特別会計補正予算

介護保険特別会計

・ 前年度精算に伴う国県支出金等への返還金 [2044万円]

海南病院事業会計補正予算

・ 病院祭り事業費 [166万円]



海南病院全景

その他主な事業は、左のページに特集しています。

安全な作業ができるように

障害者地域共同作業所 施設改修事業補助金

453万円

地 域共同作業所「虹」に、利用者等が安全に活動を継続できるよう、敷地内の危険家屋の解体と活動スペース確保のため、差し掛け屋根の整備に補助します。



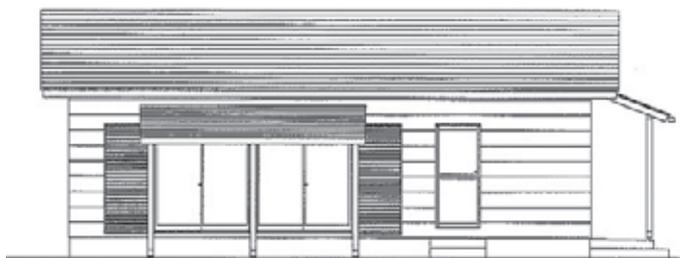
地域共同作業所での様子

集落の憩いの場として

村山集会所新築工事事業

2440万円

工事費 2300万円
監理委託料 140万円



集会所完成予想図(側面)

高 齢化が進む地域にとって、コミュニティの場として重要な拠点である集会所を整備します。

木造平屋建て・床面積58・21㎡(17・6坪)で15畳の和室を備えています。

快適に使用するために

穴喰小学校 洋式トイレ改修事業

2424万円

工事費 2314万円
監理委託料 110万円

和 式トイレを洋式(13基)に改修します。廊下と段差のない、児童にやさしいクリーンで快適なトイレにします。

海陽町・東洋町議会意見交換会

東洋町にて（令和5年8月30日）

東洋町集落活動センター「なぎ」の取り組みについて意見交換会、視察を行いました。



意見交換会



集落活動センター「なぎ」の視察

町村議会広報研修会

日経ホールにて（令和5年9月26日）



広報研修を受講



7月		8月		9月	
6日	議会広報編集特別委員会	1日	四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟	4日	議会運営委員会・議会全員協議会
7日	議会全員協議会	2日	徳島県町村議会議長会定期総会（徳島市）	7日	旧海部病院の活用について県知事要望（徳島市）
10日	南部地区四国横断自動車道建設促進期成同盟会 総会（阿南市）	4日	第2回臨時会・議会全員協議会	11日	第3回定例会（1日目） 文教厚生常任委員会
14日	議会広報編集特別委員会	27日	議会運営委員会	14日	議会運営委員会
14日	一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会総会（田野町）	26日	四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟	15日	総務産業建設常任委員会
16日	無火災祈願式	24日	阿佐東線連絡協議会総会	14日	第3回定例会（2日目）
26日	阿佐東線連絡協議会総会	26日	四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟	15日	第3回定例会（3日目）
27日	四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟	30日	海陽町・東洋町議会意見交換会（東洋町）	17日	議会広報編集特別委員会
				21日	海陽町敬老会
				26日	旧海部病院視察
				28日	町村議会広報研修会（東京都）
					四国四県町村長・議長大会（琴平町）

議会のページ

7月1日から
9月30日まで

旧海部病院の活用についての要望

(令和5年9月7日)

旧海部病院を海部高校の寮に活用するための要望を、徳島県知事へ行いました。

要 望 書 (要旨抜粋)

現在検討が進められております当施設の今後の活用方策に関しましては、少子高齢化が他地域より著しく進行している海部郡において、今後の海部高校の存続及びさらなる発展、並びに牟岐町はじめ海部郡のにぎわい創出を図る観点から、地元も一丸となって寮生をサポートいたしますので、是非、海部高校生の寮としていただきますよう、強く要望いたします。

※ (出席者：8名)

美波町長、議会議長
牟岐町長、議会議長
海陽町長、議会議長
徳島県議会議員 (重清、平山)



徳島県知事への要望



旧海部病院の視察 (9月21日)

四国8の字ネットワークについての要望

(令和5年8月1日)

海部野根道路の整備促進と牟岐～海部間の早期事業化など、要望を行いました。



国会議員への要望



財務省への要望

J R 四国「牟岐線」の維持・存続を求める意見書

9月定例会で審議の結果、全会一致で可決し、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、衆・参議院議長に提出しました。

(要旨抜粋)

徳島県の東南部を結ぶ「牟岐線」は、通学や通勤、買い物などの大切な移動手段として地域住民の生活を支える極めて重要な役割を担っている。

しかし、J R 四国では、厳しい経営環境が続いているため、乗客数が減少し営業収益が見込めない「牟岐線」の一部区間（阿南～阿波海南）について、国土交通大臣が設置する「再構築協議会」での議論を始めたいとの考えを示すなど、路線の存続が危ぶまれる動きが加速している。

本来、地方鉄道の維持やあり方については、国の責務として四国の鉄道ネットワークをどう維持していくのか、全体の考え方や方針を整理する必要がある。

よって、国におかれては、地方鉄道の維持・存続に向け、次の事項について措置を講じるよう強く要望する。

記

- 1 J R 四国の路線維持に向け経営基盤の安定化のため、予算・税制面において最大限の支援を行うこと。
- 2 沿線の地方自治体が行う、地方鉄道の利用促進のための取り組みに対する支援を行うこと。
- 3 鉄道事業者の届出により事業廃止ができる現行の鉄道事業法について、地域における鉄道の利用促進の取り組みや鉄道の廃止に伴う影響を国が評価するなど、安易に廃止されることのないよう国、地方自治体が関与できる見直しを行うこと。
- 4 地方鉄道の維持やあり方については、輸送密度や営業収益等の経済効率性に拘った存廃の議論とならないよう国が主体的に関与する制度を構築すること。
- 5 地方鉄道の維持等を議論する場合、利用が少ない路線を対象に地域公共交通ネットワークのあり方だけにとどまらず、国において今後の鉄道ネットワーク全体の方向性を示すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

「バツクキヤステイング」

の考え

町長 三浦 茂貴

私の選挙公約でもある30年後の海陽町を想像し、共通理解を持って10年後、5年後、そして今何をすべきかをみんな考えていくという「バツクキヤステイング」の考えを職員にも浸透させるため、具体的なグランドデザインを職員みんなで作る。それを基にしっかりとした目標を決め共有することで、職員の力を最大限に引き出していくように、そして最小限の費用で最大の効果が生まれるように、取り組んでいきたい。

住みよい町の実現

行財政改革プランの中で庁舎の在り方について

の検討をする。まずは分庁舎のデメリットを小さくする対策としてデジタル化を進めるため、WEB会議の推進と庁舎間オンライン窓口利用の増加、さらにはLINEを利用した住民票申請の研究を行う。並行してハード面も、海南庁舎、穴喰庁舎の構造体老朽度調査を11月末までに行い、その結果を踏まえて今後の方針を策定していく。

さまざまな行財政改革に取り組み、次の世代にバトンタッチできる未来の見える町づくりに邁進していきたい。

海部野根道路の整備促進と牟岐〜海部間の早期事業化に向け、各方面へ

要望を行った。

近年、頻発化する豪雨により、国道や町道が冠水し、緊急車両などの走行もできないケースが相次いでいる。迂回路となりえる浅川川東線、五反田宮ノ後線、杉谷大縄線の町道3路線について調査をし、町でできることを模索していく。

9月に阿南医療センターから医師を招き、住民公開講座を開催した。また、8月からは内科医師1名を週1回海南病院へ期間限定で来ていただいている。また、連携して医師、看護師の求人広告を掲載予定となっている。11月19日には、海南病院祭りを開催する。今後もさまざまな方面から海南病院を盛り立てていき、町民に必要とされる病院として改革していく。

にぎわうまちの実現

ふるさと納税は、令和5

年度4月から8月の5カ月間で1335件、3087万2千円の寄付があった。前年度同時期に比べて件数で600件、寄付額で1015万3千円増加した。

海部郡3町の町長、議長、県議と共に旧海部病院施設の海部高校寮への活用について要望を行った。定員割れをさせないためにも今後の寮の増設は必要不可欠である。知事からは「要望をしっかりと受け止め、検討していく」という前向きな答弁をいただいた。

8月30日に高知県奈半利町までDMVの特別限定運行を行った。上下便とも満車で、終点の奈半利駅でも歓迎イベントが地元住民や鉄道ファンも参加して盛大に開催された。今後は台湾からのツアーも予定されており、本格的なインバウンド需

要も見通される。

また、2025年の大阪・関西万博を好機と捉え、DMVの魅力の世界に発信する取り組みを関係機関と連携しながら進めていく。

はぐくむまちの実現

10月2日よりファミリーサポート事業による病児・病後児預かりを海部公民館2階でスタートする。

これまでのグローバル教育の成果として、全国学力・学習状況調査では、海陽町の中学3年生は英語3技能で全国平均を上回っている。一人一人が異文化を理解し、主体的に物事を考え、グローバルな社会で活躍していける力を育てていく。



DMV奈半利特別限定運行出発式での三浦町長(令和5年8月30日)

議案審議

令和5年度

一般会計補正予算

Q1 穴喰小学校トイレ

改修工事請負費

〔2314万円〕



長江議員

現在の小・中学校のトイレ改修率は。また、何%ぐらいの改修率を目標にしているのか。

森崎教育政策課長

穴喰小学校トイレ改修後、小中学校全体の洋式化率は35・7%となる。また、目標値については、今年度末に策定する学校のあり方基本計画を踏まえた上で、設定する。

Q2

新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金

〔4250万円〕



原議員

非課税世帯への3万円の給付状況は。

北村長寿福祉人権課長

住民税非課税世帯の方に対する臨時交付金で、専決で予算を組んでいる。8月末現在で、93・2%に給付済み。

Q3

民間建築物耐震化支援
事業補助金

〔435万円〕



佐川議員

場所は、国道55号のどの辺りか。また、2件の建物に人は住んでいるのか。

黒木建設防災課長

奥浦で1件、浅川で1件である。2件とも居住者はいない。

Q4

自転車ヘルメット
購入補助金

〔50万円〕



富田議員

単年度だけの事業か。また、ヘルメットの補助は、小・中学校にもあるのか。

黒木建設防災課長

県が事業主体で補助制度を設けているため、単年度事業。来年度以降は、町の補助も含めて考えていく。

森崎教育政策課長

小学校は4キロ以上、中学校は6キロ以上の自転車通学の児童・生徒に補助しており、現在は、利用者はない。

Q5. 浸水対策

測量設計委託料

〔750万円〕



高島議員

測量設計は、町道だけか。場所はどこになるのか。また、国道55号の浸水対策の進捗状況は。

黒木建設防災課長

国と県の浸水対策とは別に、国道の迂回路となる町道3路線で、浅川川東線・五反田宮ノ後線・杉谷大縄線。国道55号については、国・県に要望活動を行い、いろんな協議をしながら進めている状況。

病院事業の設置等に関する条例の改正

Q6. 脳神経外科について



叶岡議員

脳神経外科の医師の数は。CTとか診察の医療機器はあるのか。また、MRI購入の予定は。

川野海南病院事務長

現在1名。CTはあるが、MRIはない。購入については、高額でもあるので、使用頻度など総合的に考慮して検討していきたい。



木内議員

リハビリテーション科はそのままか。また、何科が残るのか。

川野海南病院事務長

リハビリテーション科を廃止して脳神経外科を設置する。内科・整形外科・外科・脳神経外科の4科となる。



戸田議員

廃止するリハビリテーション科の扱いは、今後、どうなるのか。

川野海南病院事務長

これまでどおり整形外科医の指示によって行っていく。

議

案

審

議



長江 範裕 議員

避難路をスロープにできないのか

〈建設防災課長〉ソフト面と併せ、
一体的に取り組んでいく

問 町内の避難路は階段が多く、高齢者や要支援者がのぼりづらいが、今後避難路を整備する際や、既存の避難路をスロープ



奥喰正梶地区高台

にできないのか。また、避難タワーの周りをスロープ化できないのか。

答 黒木建設防災課長
避難場所を整備する際には、避難しやすい避難路の設置を心掛けている。

スロープにすると高台までの距離が長くなり、避難に時間も要するというデメリットも考えられるが、スロープの設置も含め検討したい。既存の施設に設置するのは、敷地面積や勾配、構造的な問題から難しい。今後引き続き地域住民が少しでも早く安全に避難できるように、ソフト面と併せ、一体的に取り組んでいく。

移動式の排水ポンプを町で配備できないか

〈建設防災課長〉
国及び県に排水ポンプ車について要望している

問 台風や豪雨の折に通
行止めになる国道55号等の基幹道路について、移動式の排水ポンプを町で配備できないのか。町で難しいのであれば、国や県に導入を要望してはどうか。

答 黒木建設防災課長
国及び県に国道55号をはじめ、町内各所の浸水被害の軽減について要望し、排水ポンプ車についてもお願いしている。浸

水対策としては、令和3年度より大里川の浚渫も実施している。さらに、国道冠水時の迂回路となる町道の冠水対策を進めるため、調査費用を9月補正予算に計上した。今後も孤立状態の解消に向けて、国、県と連携を取りながら、道路の冠水対策を進めていきたい。

感震ブレーカーを普及する考えはないか

〈建設防災課長〉
県の新規補助制度の活用を検討する

問 災害時に被害が拡大する要因に火災がある。本町では耐震化に伴う耐震改修支援事業で分電盤への取り付けについて補助している。できるだけ要件を緩和して、感震ブレーカーの普及を進めていく考えはないか。

答 黒木建設防災課長
住宅の耐震化ができていないと地震により家屋が倒壊し、感震ブレーカーが作動しない恐れがあるため、耐震改修と併せて設置すると、より効果が期待できる。県の新規事業で減災と併せて感震ブレーカーを設置する場場合に補助する制度も創設された。活用に向けて、本町の補助要件と併せて検討する。

住宅の耐震化ができていないと地震により家屋が倒壊し、感震ブレーカーが作動しない恐れがあるため、耐震改修と併せて設置すると、より効果が期待できる。県の新規事業で減災と併せて感震ブレーカーを設置する場場合に補助する制度も創設された。活用に向けて、本町の補助要件と併せて検討する。

答弁は調査、庁内審議をした上で 発言してもらいたい



富田 寛 議員

〈町長〉書類がない中で発言したことは、申し訳なかった

問 私の6月議会の質問で分かったことは、某政治新聞購読料及び広告料について、年間約110万円の町単支出で、内訳は、海南病院27万5千円、まぜのおか49万5千円、海陽町12万1千円。購読部数26部で、購読料20万3400円。

これを起債を利用した事業費に置き換えたら、100万円で年間2000万円の事業費に相当する。10年経過したら事業費が2億円にもなる。それだけあれば町道、農道の路面補修、修繕工事に活用できる。政治新聞に広告掲載をしても宣伝効果はないと考える。町益のためには是正をした方がよいのでは。

答 三浦町長 政治新聞については、全体的な結論としては一定の効果があると考えている。

公金を支出する以上、決裁をする時は、決裁に

決裁に当たっては、町の方針や法令に合致しているか、そして適正な事

務執行であるかなどの観点から決裁を行っている。また、議員が課長の時に課長決裁印を押したというような表現など、当時の書類が残っていないことを認識していない中で発言をしたことは、行き過ぎた発言であったと認識し、その点に関しては申し訳なかったと思っている。

富田議員

今後についての答弁は調査、庁内審議をした上で対処し、このようなことが二度と起きないように自戒し、答弁をしていただきたい。



本会議場

海部川風流マラソンの体形を変え、復活はできないか



佐川 富美 議員

〈観光交流課長〉にぎわいづくり推進会議で精査していく

問 令和4年12月の広報にて、ポスト海部川風流マラソンのイベントを募集していたが、新たなアイデアはいくつ出て来たのか。

答 戒谷観光交流課長 本年度実施の地方創生医師団のシンポジウムや海南病院祭りについても、海部川風流マラソン大会に代わるイベントの位置付けである。この他に提案された数は21案である。

問 ランネットでも高評価であった海部川風流マラソンは、現在もなお惜しまれつつある。イベント、行事なども復活しているが、4年間というブランクがあり、町の活気

に欠けていると感じられる。復活しようとすれば、今までの何倍もの気力が必要である。新しい案があるのであれば実行し、それと並行して今まで人氣があり知名度があった海部川風流マラソンの代わりに、ハーフマラソン、10キロ、5キロ、ファミリでも参加できる3キロコースなどは考えられないのか。

答 戒谷観光交流課長 議員の提案も、これまでに提案された21のイベント案と合わせ、にぎわいづくり推進会議で精査していく。

問 マラソンは安定した人氣があり、復活への声がある。1日に2000人も集まる海陽町を見てみたいという声もある。スポーツというものは、どの競技にしても、元氣がもらえる。努力なくして活性化はなされない。惜しんでいては何もでき

ない。何事にしても定着させ、長く続けることにより、知名度もアップする。21案出てきているようだが、マラソンもそのうちのひとつとして考え、失敗を恐れずに行っていたきたい。町活性化のためには、持続したものを作り上げていくべきだと思うが。

答 三浦町長 町としても費用対効果を考え、目的意識を持つ中でイベントを開催することが非常に重要だと思う。一つの目的ではなくいろいろな目的につながっていくようなイベントができればと思う。



最後に開催された海部川風流マラソン

般

質

問

旧海部病院を特別養護老人ホームにできないか



木内 正和 議員

〈行革政策課長〉 検討協議会の動向を注視していく

問 旧海部病院（コロナ棟60床を県において8億5千万円で改築）を海部高校の寮でなく、老朽化し、移転の必要な特別養護老人ホーム海南荘に活用すれば良いと思うが。

答 奥原行革政策課長
旧海部病院の利活用については、県において旧海部病院利活用検討協議会が立ち上がった。それには県及び牟岐町を中心に委員が構成され、本町と美波町は、オブザーバーとして参加している。9月7日に海部郡3町の町長・議長・海部郡選出議員の県議2名で、知事を訪問し海部高校の寮として活用する要望書の提出を行っている。今後も引き続き、検討協議会の動向を注視していきたい。

問 子育て支援施策など、隣町（東洋町）との格差が大きい。改善すべきである。特に出産祝い金、第一子20万円、第二子30万円、第三子以降50万円。保育料助成、第一子から無料。給食費助成全額補助。入学支援金、小・中・高入学時各10万円、大学・専門学校入学時20万円となっているが、この格差をどう思うか。

答 大崎子どもあゆみ保健課長
本町においては、出産祝い金はないが、国の出

産・子育て応援交付金10万円に、町独自の上乗せとして、1歳の節目に5万円を交付している。また、第三子以降で中学卒業時に5万円の祝い金を支給している。子育て世帯への直接的な給付金や補助金といった部分的な子育て支援だけでなく、町にしかできない取り組みで子育て施策をさらに推進することで、少子化対策などに努めていく。

子育て支援策など、改善すべきでは

〈子どもあゆみ保健課長〉

町にしかできない取り組みで、子育て施策を推進していく



病児・病後児預かり業務開始式
(令和5年10月2日)

懲戒処分と再発防止を求める

〈副町長〉 法令遵守と
サービス規律を徹底する

問 新聞報道にもあったが、入札で本来、失格の業者が落札した件数が10件あった。このことに関して、役場職員の懲戒処分と、再発防止を求める。

答 浦川総務課長
今回の事案に当たり、当該職員の行為の原因やさまざまな事情と、国や他の自治体の状況を踏まえ、口頭注意とした。

答 横副町長
今後このような事態が起らないように、法令遵守とサービス規律を徹底し、職員一同、気を引き締めて業務に取り組む。

答 三浦町長
今回影響のあった業者の皆さまに大変ご迷惑をお掛けした。また、町民の皆さまにもご心配をお掛けし、本当に申し訳なく思っている。

一般質問



むらお や え こ
村尾 ヤエ子さん

小谷字日比宇
満97歳 (大正15年2月24日生)

・元気の秘訣は？

山の中で暮らすのが一番。
長男の所と行ったり来たりしながら、1人暮らしを楽しんでいる。

・日常生活は？

寒茶製造など体を動かすこと。
梅干しなど保存食づくり。
野菜作りなど農作業を楽しんでいる。

・人生の思い出は？

主人との暮らしが楽しかった。
孫の結婚式でバリ島に行ったこと。



自宅の庭にて (令和5年10月4日)



○ ツチトリモチ

町指定天然記念物。日本固有種で四国と九州、紀伊半島に自生。徳島県では絶滅危惧Ⅱ類。花期は11～12月。

日本の諺(ことわざ)や慣用語の中には「三三を使うものがたくさんある。」「三者三様」「三位一体」「三本の矢」「三人寄れば文殊の知恵等々であるが、これを町に当てはめると、議会、行政、町民の皆さまとなるのではないだろうか。

近年の異常気象による災害や南海トラフ地震に対する対策等々、町内にさまざまな課題が多くあります。このような困難な時期を乗り越えるためにも、二者が英知を結集して、みんなで力を合わせて取り組んでいく必要があります。

今後とも、町民の皆さまのご意見、ご要望をお気軽にお寄せください。(長江)

編集後記